

薬史学会通信

No.27 1999年1月

〒113-0032

東京都文京区弥生2-4-16

(財)学会誌刊行センター内

日本薬史学会事務局

Phone (03) 3817-5825

FAX (03) 3817-5830

日本薬史学会'99(平成11)年度総会 講演会のお知らせ

- と き 1999(平成11)年4月10日(土)午後
と ころ 東京大学薬学部記念講堂(文京区本郷)
総 会 13:30~14:00
公開講演 14:00~16:00 来聴歓迎(入場無料)

(総会講演会は、日本薬剤師研修センターと共催で行われ
認定薬剤師制度の対象となっております。)

テーマ「医療薬学」

東大医・教授 伊賀 立二：医療薬学の展開

国家公務員共済立川病院

薬剤部長 寺澤 孝明：病院薬局の立場から(仮題)

水野薬局 安部 正弘：調剤薬局の立場から(仮題)

懇親会 16:30~

於 学士会館分館(会費・3,000円)

なお、総会に先立ち理事・評議員会を開催します(別途御案内)

第6回医薬史蹟を訪ねる旅(イタリア)

日程：1999(平成11)年10月18日~10月29日(暫定案)

第34回国際薬史会議(1999年10月20-23日、フィレンツェ)

に合わせ10日間程度の旅です。次ページ参照

第6回 医薬史蹟を訪ねる旅 (暫定案)

[国際薬史学会議出席]

株式会社スペース

	月日曜	都市名	発着時間	交通機関	摘要	朝	昼	夕
1	平成11年 10月18日 (月)	東京(成田) (発) ロ - マ (着)		航空機 バス	空路、直行便又はヨーロッパ乗り 継ぎ便にてローマへ 着後、ホテルへ [ロ - マ 泊]		<input checked="" type="checkbox"/>	
2	10月19日 (火)	ロ - マ 滞 在	午 前 午 後	バス バス	バチカン美術館・シフィナ礼拝堂 観光 ミケランジェロの「最後の 審判」などの傑作をご覧頂きます ローマ市内観光 [ロ - マ 泊]	○		
3	10月20日 (水)	ロ - マ ピ サ フィレンツェ	午 前 後	バス	ローマ>ピサ>フィレンツェ ローマより斜塔で有名な町ピサへ ドゥオモ(入場)、その後ルネッ サンスの都フィレンツェへ向かひ ます。 [フィレンツェ 泊]	○		
4	10月21日 (木)	フィレンツェ 滞 在			国際薬史学会参加 又は 市内観光 ウフィッツィ美術館 ミケランジェロ広場 など [フィレンツェ 泊]	○		
5	10月23日 (土)	フィレンツェ 滞 在				○		
6								
7	10月24日 (日)	フィレンツェ ポローニャ ベニス	午 前	バス	フィレンツェ>ポローニャ>ベニス (270Km) 中世の都市ポローニャにてポロー ニャ大学、大学博物館などを見学 後、ベニスへ向かひます。 [ベニス 泊]	○		
8	10月25日 (月)	ベニス 滞 在	午 前 午 後	バス	ベニス半日市内観光、サンマルコ 寺院などの見所を観光いたします 自由行動 [ベニス 泊]	○		
9	10月26日 (火)	ベニス バドヴァ ミラノ	午 前 午 後	バス	ベニス>バドヴァ>ミラノ (280Km) バドヴァ大学、植物園(EUR最古) を見学後、ファッションの町 ミラノへ [ミラノ 泊]	○		
10	10月27日 (水)	ミラノ 滞 在	午 前 午 後	バス	ミラノ半日市内観光 ダビンチ像、ダビンチ科学技術博 物館を訪れます。 自由行動 [ミラノ 泊]	○		
11	10月28日 (木)	ミラノ (発)	午 前	バス 航空機	出発まで自由行動 空港へ 空路東京(成田)へ [機 内 泊]	○	<input checked="" type="checkbox"/>	
12	10月29日 (金)	東京(成田) (着)	午 前		到着後、解散	<input checked="" type="checkbox"/>		

時刻並びに交通機関は余儀なく変更になる場合がございますのでご了承下さい。

国際薬史学会の詳細が不明なので全般的な暫定案です。次号の薬史学会通信(1999年5月発行予定)をご参照ください。

1998(平成10)年度秋季講演会寸描

1998(平成10)年11月21日(土) 14:00より 星薬科大学

○星薬大 永井恒司氏；戦後薬学国際交流の活動から -FIP, PAPA, FAPA-CP-

日本以外の国では、職業団体としての薬剤師会とその専門性を学問的に支える薬学会とが密接に結合し、多くの場合、薬剤師会の下部組織として薬学会が存在している。日本においても第二次大戦後、アメリカ進駐軍の指導で両者が合体し「日本薬剤師協会」として運営されたが、1960(昭和35)年、設立以来14年にして両者は元通りに分離した。

それは西欧の薬剤師専門職が中世以来、市民社会の発展とともに今日に至ったのと異なり、わが国では明治になって初めて出現し、しかも近代資本主義的産業の勃興によって、薬剤師の製薬技術の空洞化が始まった時期であり、更に、薬学研究の分野では新興有機化学の導入が世界レベルの学問的創造を可能にしたので、薬学会会員の関心が薬剤師職能ではなく、専ら純粋科学研究に向かうのも致し方なく、薬剤師会・薬学会の両者が互いに背を向けるに至ったのである。

この事態は20世紀後半の技術革新によって



急変し、薬剤の有効性・安全性確保に対し、科学研究と医療現場技術の結合が国民の緊急課題となった。しかし日本では依然として学・術の連携が十分でなく、いきおい両者一体となって活動している西欧学術団体との交流は低調であった。

わが国薬理学領域の開拓者の一人・永井教授は、このような状況を憂慮し、早くから単独で国際活動に参加され、日本の学会の水準向上を指導されてきた。今回の講演もこの線に沿った報告であった。

とくにアジアの薬剤師の質的向上を目指し1997年に発足された「アジア薬連大学(P-APA-CP)」については、初代学長の立場から意欲的な発言をされた。

○国立衛生試験所名誉所長 鈴木郁生氏；国立衛生試験所の変遷

国立衛試の前身は1874(明治7)年東京司薬場に始まり、当初日本橋馬喰町、次いで神田和泉町に移った。この場所は医学校構内元中根邸跡で、1883(明治16)年に内務省衛生局東京試験所と改められた。1945(昭和20)年の大空襲で殆ど消失し、翌年、世田谷・用賀の陸軍衛生材料廠跡に移転するまで此处に置かれた。この土地はその後東京財務局に引き継がれ今日に及ぶので、講演会ではその史跡を示す標柱の写真が紹介された。(左図)

1974(昭和49)年、創立100周年を記念し、もと上野寛永寺墓地にあったゲールツの顕彰記念碑は用賀の地に移転され、1997(平成9)年7月1日、大規模な行政改革の一貫として「国立医薬品食品研究所」と改称され今日に及んでいる。

以上鈴木氏は、永年勤務された衛生試験所の流れにつき、スライドを交えつつ話された。

(K)

日本薬学会第119年会（徳島）薬史学会の内容

と き 1999年3月30日（火）
ところ 徳島文理大学、アスティとくしま

近代日本医薬品産業の発展 その14

永井長義博士と大日本製薬会社

大日本製薬 ○竹原 潤；

日本薬史学会 山田久雄、山田光男

シュタイナーの人智薬学とホメオパシー療法

ECV Pharmind ○小林大高；

WELEDA 野中潤一

昭和期札幌での「幻に終わった薬学校」

—その調査報告—

北海道薬大 ○吉沢逸雄

江戸落語に登場する医薬品について

東京海道病院・薬局 ○五井野政彦；

アストラジャパン・東京開発部 玉置浩之；

東京薬大・薬 宮本法子；

日本薬史学会 川瀬 清

伊吹山東斜面での薬草生産方法の特殊性

森の文化博物館 ○高橋慈子；

日野製薬 山口茂治；岐阜薬大 田中俊弘

文化年間の南部藩における薬草採取奨励事業 に関する歴史考察

弘前大・医病・薬剤部 ○大久保正、
菅原和信

緩和医療の現状と歴史的背景

岐阜県保健環境研 ○飯沼宗和

東京薬大・薬 宮本法子

万能秘薬テリアカの調製法

名城大・薬 ○市野和彦、奥田 潤

星製薬株式会社（星一）によるわが国初のアル ルカロイド製造とその歩み

星薬大 ○三澤美和

英国の秘薬コロダイン由来の売薬「神薬」の 盛衰

日本薬史学会 大橋清信

技術革新から見た製薬工業発展の史的考察

日本薬史学会 山川浩司

最近の薬史学研究とその動向 1

日本薬史学会の活動

日本薬史学会 ○山田光男、川瀬 清、

末広雅也、高橋 文、山川浩司；

東京薬大・薬 宮本法子

最近の薬史学研究とその動向 2

日本薬学会への協力

日本薬史学会 山田光男、○川瀬 清、

末広雅也、高橋 文、山川浩司；

東京薬大・薬 宮本法子

最近の薬史学研究とその動向 3

国際学会への参加

日本薬史学会 山田光男、川瀬 清、

末広雅也、○高橋 文、山川浩司；

東京薬大・薬 宮本法子

最近の薬史学研究とその動向 4

日本薬史学会 山田光男、川瀬 清、

末広雅也、高橋 文、山川浩司；

東京薬大・薬 ○宮本法子

体液中薬物濃度測定の史的考察

(3)ジゴキシンについて

日本薬史学会 末廣雅也

○日本薬学会第119年会（徳島）の一般発表
は、すべてポスターによります。関心を持
たれる方の膝をつき合せた交流を希望しま
す。